

平成 31 年度使用中学校用教科用図書

選 定 資 料

(「特別の教科 道徳」)

平成 30 年 6 月

広島県教育委員会

はじめに

広島県教育委員会は、平成 31 年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書の「選定資料」について、広島県教科用図書選定審議会に対して諮問し、このたび答申されました。

この答申に基づき選定資料を作成しましたので、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 10 条の規定により送付します。

教科用図書は、学校教育において、教科の主たる教材として使用される重要なものです。

そのため、教育基本法や学校教育法で示された教育の理念や目標及び学習指導要領における各教科の目標や内容等に則り、本県の児童生徒に最も適切な教科用図書を採択することが必要です。

各採択権者においては、この資料を活用して教科用図書の調査研究を十分に行い、適正かつ公正な採択を行ってください。

平成 30 年 6 月

広島県教育委員会

教科用図書選定資料について

1 観点及び視点の設定について

この選定資料は、文部科学省の「中学校用教科書目録（平成 31 年度使用）」に記載された教科用図書のうち「特別の教科 道徳」について、次の五つの観点に基づいて調査研究を行い、特徴を一覧表にしたものです。

- | | |
|------|---------------|
| 観点 1 | 基礎・基本の定着 |
| 観点 2 | 主体的に学習に取り組む工夫 |
| 観点 3 | 内容の構成・配列・分量 |
| 観点 4 | 内容の表現・表記 |
| 観点 5 | 言語活動の充実 |

2 記載の順序

選定資料に記載している順序は、文部科学省の「中学校用教科書目録（平成 31 年度使用）」に登載されている発行者番号順とし、発行者名は次の略称で表しています。

番号	略称	発行者名
2	東書	東京書籍株式会社
11	学図	学校図書株式会社
17	教出	教育出版株式会社
38	光村	光村図書出版株式会社
116	日文	日本文教出版株式会社
224	学研	株式会社学研教育みらい
232	廣あかつき	廣濟堂あかつき株式会社
233	日科	日本教科書株式会社

特別の教科 道徳

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい道徳
11	学 図	輝け 未来 中学校道徳
17	教 出	中学道徳 とびだそう未来へ
38	光 村	中学道徳 きみがいちばん ひかるとき
116	日 文	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート
224	学 研	中学生の道徳 明日への扉
232	廣 あ か つ き	中学生の道徳 中学生の道徳ノート
233	日 科	道徳 中学校

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 道徳科の学び方等の示し方	オリエンテーションのタイトル、示し方、記載例
		② 主題名等の示し方	主題名等の示し方、具体例
		③ 発問の工夫	発問の記載箇所、数、記載例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 問題解決的な学習を取り入れた工夫	問題解決的な学習の扱い、教材名、内容項目、問題意識の持たせ方、発問の具体例
		⑤ 体験的な学習を取り入れた工夫	体験的な学習の扱い、教材名等、内容項目、体験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体例
		⑥ 自己の生き方につなげる工夫	実生活に生かす教材等の扱い、具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 分量や教材の数	判型、ページ数、4つの視点ごとの教材数
		⑧ 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方	いじめの問題の扱い、教材等の例
(エ)	内容の表現・表記	⑨ 巻頭・巻末等の取扱いの工夫	巻頭・巻末等の示し方
		⑩ 教材の内容を理解させる工夫	マーク・キャラクター等の示し方、活用の具体例
(オ)	言語活動の充実	⑪ 考えを伝え合う活動の工夫	話し合いを促す示し方、具体例
		⑫ 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方、まとめや振り返りの頻度等、具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①道徳科の学び方等の示し方
方法	オリエンテーションのタイトル, 示し方, 記載例

		第1学年		
		オリエンテーションの タイトル	示し方	記載例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳の授業はこんな時間に」 ○ 「話し合いの手引き」 ○ 「1年間で学ぶこと」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭折り込み3ページに, ショートストーリーを基に学習の流れを解説し, 自分の考えを書く欄を4箇所と振り返りの欄を1箇所設けている。 ○ 1ページに, 話し合いの手引きを示している。 ○ 見開き2ページに, 4つの視点ごとに, 1年間に学ぶ内容項目と教材名を示し, 中学生になって頑張りたいことを書く欄を1箇所設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「拓哉のなやみ」を読んで, 考えてみよう ○ 「話し合いの手引き」 <ul style="list-style-type: none"> ・このページは, 話し合いの時に参考にしましょう。 ○ 「自分自身に関すること」 <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え, 責任をもつ ・安全で健康な生活 	
	学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳の学習を始めよう！」 ○ 「聞こう・話そう さいころトーク」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページの目次ページの下部に, 「教材に出会ったとき」「考え, 議論するために」「振り返る」の3つの学習の流れを示し, 学習の進め方や, 態度等の留意点について示している。 ○ 見開き2ページに, 学級集団の構築をねらったグループワーク, 「学級づくり」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「教材を通して, 自分の心を見つめ, 自分と深く向き合ってみよう。そのときに思ったことや, 感じたこと, 考えたことをみんなで話し合おう。」 ○ 「お互いの話を聞き合うことは, お互いを知り合うことの第一歩。」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「中学生の道徳が始まる」 ○ 「道徳って, どんなふうに学習したらいいの？」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに, 道徳の学習を通して考えていきたいことを6つ, 教材名と共に示している。 ○ 見開き2ページに, イラストや吹き出しを基に教材を読んだり, 考えたり, 話し合ったりする時の視点や留意点と共に, 道徳の学び方を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「1年生ではこのようなことを学んでいきます」 <ul style="list-style-type: none"> ・中学生になって ・たくさんの友情を育もう ○ 「自分に引きつけて」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分には関係ないと思っていただけ……。 ・自分だったら, どうするだろう？ 	
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『対話』で広がる, 道徳の時間 ○ 「本書で学ぶ皆さんへ」 ○ 「どうして『道徳』を学んだらう？」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに, イラストや吹き出しを基に道徳の授業で「どう学ぶのか」を示している。 ○ 1ページに, 授業を構成する要素を「①学びのテーマ」「②考える観点」「③見方を変えて」「④つなげよう」「⑤私の気づき」の5つで示している。 ○ 巻末の見開き2ページに, 道徳を学ぶ意義を内容項目やイラストで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『他者』との会話 『自分』との対話 ○ 「この教科書は, 皆さんが主体的に学べるように, 構成を工夫しています。」 ○ 「道徳の時間は, よりよい『行動』ができるように, 一人一人の『判断』を支える心のありようを, みんなで考えていくためにあります。」 	

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳科で学ぶこと 道徳科での学び方」 ○ 「この教科書で学ぶテーマ」 ○ 「道徳ノートのとびら」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目を示すと共に、イラストや写真を使い、道徳科での学び方を「気づく」「考え、議論する、深める」「見つめる、生かす」の3つで示している。 ○ 見開き2ページに、特に扱いたい11のテーマを教材名と共に示している。 ○ 別冊「道徳ノート」の1ページに、4つの視点ごとに、内容項目を記載し、特に学びたいものに印をつけたり、自分について書いたりする欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳科って何を学習するのか。」 ○ 「教材をとおして、どんなことが、よいと思っただろうか。どんなことが、道徳的に問題だと考えただろうか。」 ○ 「『いじめ』と向き合う」 <ul style="list-style-type: none"> ・ さかなのなみだ ・ 「いじめ」って何？ ○ 「よりよく生きるために大切なことなかで、あなたはとくにどんな内容を学習したいですか。」
<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「新しい扉を開く」 ○ 「よりよく生きるための22の鍵」 ○ 「様々なテーマで学ぼう」 ○ 「My Profile」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、イラストや活動例を基に、道徳での学びを「1教材と出会う」「2教材をもとに考える」「3話し合い、磨き合う」「4生き方についての考えを深める」の4つで示している。 ○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目と教材名を示している。 ○ 1ページに、6つのテーマを挙げ、テーマごとに教材名を示している。 ○ 1ページに、自分の好きな言葉や好きな歌等、13項目について書く欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「1教材と出会う」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 話や資料に触れ、自分たちの生活や社会と重ね合わせて、考えたいことを見付ける。 ○ 「自分を見つめ伸ばす」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自ら考え、判断し、実行し、責任をもつ ○ 「かけがえのない命」 <ul style="list-style-type: none"> ・ あなたに ・ いっぱい生きる 全盲の中学校教師 ○ 「中学生になった自分を見つめて書いてみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 好きな言葉
<p>廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分を見つめよう」 ○ 「中学1年生の私」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、道徳の時間について、「さまざまな答えがある」「よさや問題点を見つけ、考える」「ともに考え、話し合う」「自分を見つめ、考える」「書くことで、考えを深める」の5つを示している。 ○ 巻末の見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間に学ぶ内容項目と教材名を示している。 ○ 別冊「中学生の道徳ノート1」の1ページに、自分の好きなスポーツや歌等、16項目について書く欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「さまざまな答えがある」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳の時間は、人として大切なことを理解し、それをもとに自分の生き方について考えを深める時間です。 ○ 「主として自分自身に関すること」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で考え誠実に実行し、結果に責任をもつ ○ 「中学1年生の私」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 好きなスポーツ ・ 好きな歌
<p>日 科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳科って何を学ぶの？」 ○ 「教科書の使い方」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに内容項目を示している。また、多様な考えを知るための6つの方法を示している。 ○ 1ページに、教科書の使い方を5点示すと共に、自分の好きなことや好きな言葉等、6項目について書く欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「主として人とのかかわりに関すること」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 思いやり ・ 感謝 ・ 礼儀 ○ 「多様な考えを知るために」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えを持ち、積極的に発言する ○ 「教材やコラムを読んで、自分の考えを持ちましよう。」 ○ 「心の成長を目指して」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 好きなこと ・ 好きな言葉 ・ 感動したこと ・ 自分のよいところ

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②主題名等の示し方
方法	主題名等の示し方, 具体例

	主題名等の示し方	具体例
		教材名「足袋の季節」
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに主題名を示している。 ○ 教材名の横に示している。 ○ 色別の4つの視点の枠内に, マークと共に示している。 	<p>【第3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主題名「弱さと向き合って」 ・ Dの視点「生命や自然, 崇高なものとのかわり」を表した緑色の枠内のマークの下に示している。
学図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに主題名を示している。 ○ 教材名の横に示している。 ○ 色別の4つの視点のマーク及び内容項目の横に示している。 	<p>【第3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主題名「良心に従って生きる」 ・ Dの視点「生命や自然, 崇高なものとの関わり」を表した青色の枠の中のマーク及び内容項目「よりよく生きる喜び」の文字の横に示している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに4つの視点を表す色別の枠内に教材番号を示している。 ○ 教材名の横に示している。 	<p>【第3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Bの視点「人との関わりに関すること」を表したオレンジ色の枠内に教材番号を示している。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに4つの視点を表すマークと内容項目を示している。 ○ 教材名の横に示している。 	<p>【第3学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ シーズン2「他者と共に生きる社会をみざして」の紫色の枠内に, Dの視点「生命や自然などとの関わりに関すること」を表したマークを示し, その下に内容項目「8 よりよく生きる喜び」を示している。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに主題名を示している。 ○ 教材名の上に示している。 ○ 色別の4つの視点の枠内に, マークと共に示している。 	<p>【第2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主題名「強く気高く生きる」 ・ Dの視点「生命や自然, 崇高なものとの関わりについて考える教材です。」を表した緑色の枠内のマークの下に示している。
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに4つの視点を表す色別のラインを示している。 ○ 教材名の上に示している。 	<p>【第2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Dの視点「主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること」を表した緑色のラインを示している。
廣あかつき	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに4つの視点を表す色別の教材番号を示している。 ○ 教材名の上に示している。 ○ 教材名の下に, 4つの視点を表す色別のマークを示している。 	<p>【第2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上にDの視点「主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること」を表した緑色の枠内に教材番号を, 教材名の下に緑色のマークを示している。
日科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに4つの視点を表す色別の枠内に内容項目の番号を示している。 ○ 教材名の上に示している。 	<p>【第2学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Dの視点「自然や崇高なものとのかわり」を表した青色の枠内に内容項目の番号を示している。

視点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③発問の工夫
方法	発問の記載箇所, 数, 記載例

		教材名「二通の手紙」(「元さんと二通の手紙」) 内容項目C「遵法精神, 公德心」		
		発問の記載箇所	数	記載例
東 書	○ 教材文の終わり		2	<p>【第3学年】</p> <p>○ 「集団や社会とのかかわり」を表す青色の枠の中の「考えてみよう！」のコーナーに、マークと共に記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元さんがはればれとした顔で職場を去ることができたのは、なぜだろう。 ・社会の中で規則や決まりを守ることが大切なのは、なぜだろう。
学 図	○ 教材文の終わり		3	<p>【第2学年】</p> <p>○ 「集団や社会との関わり」を表すオレンジ色の文字で示した「学びに向かうために」のコーナーに記載している。</p> <p>○ 「考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ元さんは、規則を知っていながら姉弟を園内に入れたのだろうか。 <p>○ 「考えよう・意見交換」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二通の手紙を見比べながら、「新たな出発ができそうだ。」と言った元さんは、どんなことを考えていたのだろうか。話し合ってみよう。 <p>○ 「見つめよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きまりは何のためにあるのだろうか。考えたことをノートなどに書いてみよう。
教 出	○ 冒頭の教材名の下 ○ 教材文の終わり		4	<p>【第3学年】</p> <p>○ 「集団や社会との関わりに関すること」を表す青色のマークと共に記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな場合でも、きまりは優先されるべきなのだろうか。 <p>○ 「学びの道しるべ」のコーナーに、「集団や社会との関わりに関すること」を表す青色のマークと共に記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元さんがはればれとした顔で身のまわりを片づけ、職場を去っていったのはなぜだろう。 ・姉弟を入園させた元さんの判断を、あなたは思うだろうか。 ・きまりや法は、なんのためにあるのだろうか。
光 村	○ 教材文に続く1ページ		6	<p>【第3学年】</p> <p>○ 「学びのテーマ」のページに、「規則は、何のためにあるのだろうか。」というテーマと共に記載している。</p> <p>○ 「考える観点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元さんは、規則を知っていながら、どうして姉弟を動物園の中に入れたのだろうか。 ・元さんが「この年になって初めて考えさせられ」たのは、どんなことだったのだろうか。 ・規則は、何のためにあるのだろうか。 <p>○ 「見方を変えて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懲戒処分を受け、晴れ晴れとした顔で辞職した元さんを見て、佐々木は、どんなことを思っただろう。 <p>○ 「つなげよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたが法やきまりを守るのはどうしてか、考えてみよう。 ・社会参画のコラム「社会の一員として」を読んでみよう。

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 教材文に続く見 開き 2 ページ</p> <p>○ 別冊「道徳ノ ト」の 1 ページ</p>	<p>6</p>	<p>【第 3 学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習の進め方」のページに記載している。 ・話し合いをとおして、法やきまりの意義について、考えてみよう。 ○ 「①問題をつかもう。」 ・「二通の手紙」を読んで、何が問題だと考えるかまとめよう。 ○ 「②自分で考えてみよう。」 ・元さんは、二通の手紙を読んだとき、それぞれ、どんなことを考えたのだろう。 ○ 「③問題について考え、議論しよう。」 ・元さんが、初めて考えさせられたこととは何か考え、話し合おう。 ・次のことも話し合ってみよう。 ○ 「自分にプラスワン」のコーナーに記載している。 ・法やきまりについて、どのように考えていきたいかまとめてみよう。 ○ 上記と同様のものを記載している。
<p>学 研</p>	<p>○ 教材文の終わり</p>	<p>2</p>	<p>【第 3 学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「主として集団や社会との関わりに関すること」を表す青色のマークと共に記載している。 ・二通の手紙を前に、元さんが考えさせられたこととはどのようなことだろう。 ・この話から、どのようなことを自分に生かせるだろうか。
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 教材文の終わり</p>	<p>4</p>	<p>【第 3 学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「主として集団や社会との関わりに関すること」を表す青色の枠の中の「考える・話し合う」のコーナーに、「懲戒処分を受けたにも関わらず、晴れ晴れと職場を去った元さんを通して、規則の尊重について考える。」というめあてと共に記載している。 ○ 「学習の手がかり」 ・元さんはどう思って、姉弟を特別に入園させたのか。 ・二通の手紙を見比べて元さんが考えたことはなんだろう。 ・元さんはどうして晴れ晴れとした顔で身の回りの片づけをし、職場を去っていったのだろう。 ○ 「考えを広げる・深める」 ・規則に問題があったのか、それとも元さんの思いやりに問題があったのか、考えてみよう。
<p>日 科</p>	<p>○ 教材文の終わり</p>	<p>3</p>	<p>【第 2 学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」のコーナーに、「集団や社会とのかかわり」を表すオレンジ色のマークと共に記載している。 ・二人の姉弟を入園させた元さんをどう思いますか。 ・この年になって初めて考えさせられることとは、どんなことだったのでしょうか。 ・元さんが晴れ晴れとした顔で身の回りを片付け、自ら職を辞し、職場を去って行ったのはどうしてでしょう。

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④問題解決的な学習を取り入れた工夫
方法	問題解決的な学習の扱い、教材名、内容項目、問題意識の持たせ方、発問の具体例

	問題解決的な学習の扱い	第1学年	
		教材名、内容項目 問題意識の持たせ方	発問の具体例
東書	○ 問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに「考えてみよう！」のコーナーを設けている。	○ 「全てがリオでかみ合った」 ○ 「A 希望と勇気、克己と強い意志」 ○ 試行錯誤しながら結果を出した陸上選手の姿から、目標を達成するために必要なことについて考えさせている。	○ 「考えてみよう！」の中に示している。 ・腰痛や自分の走りになやんでいた山縣選手を支えていたのは、どのような思いだろうか。 ・目標を達成していくためには、どのようなことが必要なのだろうか。
学図	○ 問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに「学びに向かうために」のコーナーを設けている。	○ 「キャッチボール」 ○ 「C 遵法精神、公德心」 ○ 自分と同じ行動を取る人物に迷惑を被る登場人物の姿から、きまりの意義について考えさせている。	○ 「学びに向かうために」の中に、「考えよう」「考えよう 意見交換」「見つけよう」の順に示している。 ・監督からの指示にしたがうために明夫たちが取った行動やその判断のどこに問題があったと思うか。 ・他にどのような方法や判断の仕方があったと思うか。理由も含めて話し合おう。 ・痛みがぐっとまして来るのを感じていた明夫は、どんなことを考えていたのだろうか。
教出	○ 問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに「学びの道しるべ」のコーナーを設けている。	○ 「自分で決める」 ○ 「A 自主、自律、自由と責任」 ○ タイトルの下に「自由という言葉から、どんな人や物事を連想するだろうか。」と問いを示している。 ○ 友達からの誘いで迷う登場人物の姿から、自分で決めるときに大切なことについて考えさせている。	○ 「学びの道しるべ」の中に示している。 ・陽香里は、吹奏楽部をやめようと瑠花に誘われて、なぜ迷っているのだろうか。 ・あなたなら、このあと陽香里にどのようなアドバイスをするだろうか。 ・「自分で決める」ときに大切なのは、どんなことだろうか。
光村	○ 問題解決的な学習ができるよう、教材の冒頭や終わりの「学びのテーマ」のページに、「考える観点」を設けている。	○ 「自然教室での出来事」 ○ 「A 節度、節制」 ○ 「学びのテーマ」のタイトルの下に、「よりよい生活を送るために必要なことは、何だろうか」と問いを示している。 ○ 山を登り切れない登場人物の姿から、よりよい生活に向けて必要なことについて考えさせている。	○ 「学びのテーマ」の中の「考える観点」に示している。 ・寝ている正典を起こしたとき、公一は、どんな気持ちだったのだろうか。 ・英二たちが手に入れ、公一や正典が手に入れられなかったものは、何だろうか。 ・これからどのような生活を送っていききたいか、自分の目ざす1日のタイムスケジュールを考え、下の縁に書き込もう。

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 問題解決的な学習に適した教材には、目次、該当ページ及び巻末にマークを付けて示し、教材文の終わりに、問題を解決するための「学習の進め方」のページを設けている。</p>	<p>○ 「裏庭でのできごと」 ○ 「A 自主, 自律, 自由と責任」 ○ 「学習の進め方」のタイトルの下に「話し合いをとおして、誠実な生き方について考えてみよう。」と問いを示している。 ○ 本当のことを言えずに悩む登場人物の悩む姿から、責任を取ることの大切さについて考えさせている。</p>	<p>○ 「学習の進め方」の中に、「1問題をつかもう。」「2自分で考えよう。」「3問題について考え、議論しよう。」の順に示している。 ・健二は、英語の授業中、どんなことを考えていただろう。 ・健二は、鏡に映った自分の姿を見たとき、どんなことを考えていただろう。 ・健二が鏡に映った自分を見たとき、どんなことを考えていたのかを話し合おう。</p>
<p>学 研</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができるよう、「深めよう」のページを設けている。</p>	<p>○ 「うわさで決めるの?」 ○ 「C 公正, 公平, 社会正義」 ○ 「深めよう」の下に、「SNSでのいじめについて考える」と問いを示している。 ○ SNSの会話の問題点に関してグループで話し合い、いじめについて考えさせている。</p>	<p>○ 「深めよう」の中に、「考えを整理しよう」「話し合おう」「振り返ろう」「踏み出そう」の順に示している。 ・SNSでの会話には、どんな問題点があるか考えてみよう。 ・私がBさんともっと親しくなりたいと思うようになったのは、なぜだろう。 ・友達に対して偏見をもたないようにするために、気をつけることについて考え、実践しよう。その内容について、グループで話し合ってみよう。</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに、「考える・話し合う」のコーナーを設け、「学習の手がかり」の中で、学習のめあて等を示している。</p>	<p>○ 「裏庭での出来事」 ○ 「A 自主, 自律, 自由と責任」 ○ 「学習の手がかり」に、「雄一と大輔という友人二人のことを考えて悩んだ末に健二がとった行動から、健二の決断を支えていたものについて考える。」と示している。 ○ 本当のことを言えずに悩む登場人物の姿から、責任を取ることにについて考えさせている。</p>	<p>○ 「学習の手がかり」の中に、めあてとともに示している。 ・健二はどんなことを考え、悩んでいたのだろうか。 ・職員室に向かう健二はどんなことを考えていたのだろうか。 ・告白することを決断した健二の心を支えている考え方とは、どんなものだろうか。</p>
<p>日 科</p>	<p>○ 問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに、「考え、話し合ってみよう」として、「深めよう」のコーナーを設けている。</p>	<p>○ 「プロレスごっこ」 ○ 「C 公正, 公平, 社会正義」 ○ 休み時間にプロレスごっこが繰り返される学級の状況から、いじめについて考えさせている。</p>	<p>○ 「考え、話し合ってみよう」として、「深めよう」の中に示している。 ・どのような“いじめ”が隠れていますか。 ・この状況を改善するためには、どのような方法が考えられますか。話し合ってみましょう。</p>

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤体験的な学習を取り入れた工夫
方法	体験的な学習の扱い、教材名等、内容項目、体験的な学習活動の概要、体験的な活動を促す具体例

	体験的な学習の扱い	第3学年	
		教材名等、内容項目 体験的な学習活動の概要	体験的な活動を促す具体例
東 書	○ 直前の教材に関連した体験的な学習を促す教材を掲載するとともに、動作や演技に関するマークを目次及び該当ページに示している。	○ 「次世代のにない手として」 ○ 「C 遵法精神、公德心」 ○ 人から迷惑をかけられそうになった時の伝え方について、演じて考える活動。	○ 「ACTION アクション！」のページに演技の手順を示し、役割演技を促している。 ・「缶コーヒー」(84～87 ページ) で、コーヒー缶が転がって、「私」のスカートとノートがよごれてしまったとき、それぞれの人は、どのような気持ちになったか、下のふき出しに書きましよう。 ・3人一組になって、「会社員の女性」役、「私」役、「となりのおばさん」役と、役割を決めましよう。 ・役を交替しながら、全員が全ての役を演じましよう。 ・それぞれの役を演じてみて、気づいたこと、感じたことを書きましよう。
学 図	○ 体験的な学習を促す教材を掲載している。	○ 「言葉の向こうに」 ○ 「A 自主、自律、自由と責任」 ○ 悪口の書き込みに対する登場人物の行動や考え方の問題点について、演じて考える活動。	○ 「学びに向かうために」のコーナーの「考えよう 意見交換」に、発問を示し、役割演技を促している。 ・ファンサイトにA選手の悪口を書き込んだ人は、どんな思いで書いたのだろうか。 ・悪口の書き込みに対する加奈子の行動や考え方には、どんな問題点があるのだろうか。演じてみたりして、話し合ってみよう。 ・加奈子が忘れていた「いちばん大事なこと」とはどんなことか。考えを出し合ってみよう。

【特別の教科 道徳】

<p>教 出</p>	<p>○ 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けると共に、動作や演技に関するマークを該当ページに示している。</p>	<p>○ 「校長先生の模擬面接」 ○ 「B 礼儀」 ○ 社会のマナーやエチケットについて、グループ毎に一つの場面を演じて考える活動。</p>	<p>○ 教材文の終わり「やってみよう」のページに、発問を示し、役割演技を促している。 ・社会ではさまざまなマナーやエチケットがあります。どのようなものがあるか、あげてみましょう。 ・みなさんがあげた中から、グループで一つの場面を演じてみましょう。演じてみた感想を書きましょう。 ・これまで、エスカレーターに乗るときは「歩く人のために片側をあける」というのがマナーになっていました。しかし、最近では「歩行禁止」がマナーになりつつあります。なぜ変わってきたのでしょうか。みんなで話し合ってみましょう。</p>
<p>光 村</p>	<p>○ 複数の連続した教材（学習のまとめ）に関連した、体験的な学習を促すページを設けると共に、目次に示している。</p>	<p>○ 「自分も相手も大切に する」 ○ 自分も相手も大切に する関係について、具体的 な場面に基に考える 活動。</p>	<p>○ 最初のユニットの終わり「コラム 人と人との関係づくり」に、イラストと共に発問を示し、役割演技を促している。 ・人間関係を築くときには、「自分にもいい、相手にもいい」という関係をつくることを目指そう。自分のことも相手のことも大切に する関係とは、どのようなもの だろうか。 ・自分を大切に するために、体調がよ くないときや、疲れている ときには、友だちからの誘 いを断ってもいいよ ね。どう断れば、その 後の人間関係を壊さ ないでいられるだ ろう。</p>
<p>日 文</p>	<p>○ 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けると共に、動作や演技に関するマークを目次、該当ページ及び巻末に示している。</p>	<p>○ 「出迎え三歩、見送り七歩」 ○ 「B 礼儀」 ○ お客様をどのように 出迎え、見送ればよ いのかについて、演 じて考える活動。</p>	<p>○ 「学習の進め方」のページに、演技の手順を示し、役割演技を促している。 ・①グループになって、次のことを話し合おう。 ・②体験しよう。①で話し合った、出迎え方を 実態に体験し、その ときの思いを言葉に してみよう。 ・③体験しよう。出 迎え方を体験した ら、見送り方も体 験し、そのときの 思いを言葉に してみよう。 ・④「出迎え三歩、 見送り七歩」を 読んで、体験した こととあわせて 次のことを話し 合おう。</p>

【特別の教科 道徳】

<p>学 研</p>	<p>○ 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けている。</p>	<p>○ 「笛」 ○ 「B 相互理解, 寛容」 ○ もらった笛を誰のものにすべきだったのかについて、演じて考える活動。</p>	<p>○ 「深めよう」のページの「やってみよう」に、演技の手順を示し、役割演技を促している。 ・4人組みで役割演技を行う。 ・3人の少年役（アンドレ、マイケル、ピート）を決める。 ・残る1人は、3人の少年役が納得するように、自分の考えを伝える。 ・3人の少年役で、話しておきたい考えがある場合は伝える。 ・役割を交代して繰り返す。 ・演技をして考えたことを話し合う。</p>
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 体験的な学習を促す教材を掲載している。</p>	<p>○ 「席を譲られて」 ○ 「B 礼儀」 ○ 礼儀に必要な作法と作法に込める心について、席を譲る場面を基に考える活動。</p>	<p>○ 「考える・話し合う」のコーナーの「学習の手がかり」, 「考えを広げる・深める」に、めあてや発問を示し、役割演技を促している。 ・筆者が目撃した二つの光景を比べて、礼儀に必要な作法と作法に込める心について考える。 ・老人や赤ん坊を抱いた人、障がいのある人等に席を譲るとき、どのようなことに心がければよいだろうか。</p>
<p>日 科</p>	<p>○ 体験的な学習を促す教材を掲載している。</p>	<p>○ 「礼儀はなぜ必要か」 ○ 「B 礼儀」 ○ 三つの場面毎に、礼儀正しい振る舞いと無礼な振る舞いについて、具体的な場面を基に考える活動。</p>	<p>○ 教材の冒頭、及び教材文の終わり「考え、話し合ってみよう。そして、深めよう」のコーナーに、それぞれ発問を示し、役割演技を促している。 ・次の三つの場面において、“最も礼儀正しい振る舞い”と“最も無礼な振る舞い”は何でしょうか。 ・初めて人に会う時 ・不注意で隣の家の窓ガラスを割って謝罪に行く時 ・プレゼントを人からもらった時 ・なぜ礼儀正しいことが大切だとされているのでしょうか。</p>

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥ 自己の生き方につなげる工夫
方法	実生活に生かす教材等の扱い, 具体例

	実生活に生かす教材等の扱い	具体例 (第2学年)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他の教科との関連を確認してから学習に入れるよう, 教材ごとに関連する教科をマークで示している。 ○ 教材で学習した内容を各教科や自分の生活に広げて考えることができるよう, 「Plus プラス」のページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名「六千人の命のビザ」 ○ 教材名の右下に関連する教科として「(社) (数)」と示している。 ○ 教材文の終わりに見開き2ページで「Plus プラス 外交官, 杉原千畝と六千人の命のビザ」を設けている。 ○ 杉原千畝の動きや主な出来事を記載した年表や, 写真, 本人の言葉等と共に, 発問を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・あなたは, 杉原さんの言葉から, どのようなことを感じましたか。
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大事なことを自分自身のこととして見つめ, 今後に生かすことができるよう, 「見つめよう」を設けている。 ○ 道徳的価値について自分のこととして捉えることができるよう, 「心の扉」のページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名「負けを生かす技術」 ○ 教材文の終わり「学びに向かうために」の中に, 「見つめよう」を設けている。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身に起きていることについて, どんなふうに変えて取り組んでいきたいと思うか。ノートなどに書いてみよう。 ○ 教材文の次のページに「心の扉 自分を見つめ, 自己の向上を図るとともに, 個性を伸ばして自分らしく生きる」を設けている。 ○ 個性を磨いて, より良い自分を見つけるための観点と4か所の書き込みスペースを設けている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳科の学習を日常生活に生かせるよう, 「学びの道しるべ」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名「復旧にとどまらず, 復興を～後藤新平～」 ○ 教材文の終わり「学びの道しるべ」の中に, 3つの発問を設けている。 <ul style="list-style-type: none"> ・新平が, 予算の削減や計画の修正を決断したのはなぜだろう。 ・「自治三訣」の言葉には, 新平のどんな思いがこめられているのだろう。 ・私たちの学校や住んでいる地域をよくするために私たちにできそうなことは何か, 話し合ってみよう。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学んだことを深めたり行動につなげたりできるよう, 他教科や学校生活との関連, 特別活動や学校行事との関連, 関連する内容の図書の紹介等を掲載する, 「つなげよう」を設けている。 ○ 巻末に, 他教科等との関連を一覧にして示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名「テニス部の危機」 ○ 教材文の終わりのページに「学びのテーマ」を設け, 5つの要素の1つとして「つなげよう」を設け, 集団の一員として, よりよくあるために大切なことについて示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・あなたは, これからの一年間, 学級や学校の一員として, どんな役割を果たしていきたいだろう。 ・あなたの学校生活を支えている学校の人たちは, 集団の一員として, どのような思いで仕事に取り組んでいるのだろう。 ○ 内容項目順に, 「教材番号」「教材名」等と共に, 「他教科・領域との関わり」を記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「28」「箱根駅伝に挑む」「保健体育科」

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 道徳科以外の教育活動とも関連づけて使用できるよう、教材と関連した内容や活動を扱ったコラムを掲載している。</p> <p>○ 巻末に、他教科等との関連を一覧にして示している。</p>	<p>○ タイトル「そんなつもりじゃなかったのに……」</p> <p>○ 教材文の終わりに見開き2ページで「プラットホーム『情報モラル』」を設けている。</p> <p>○ 言葉の使い方と伝わり方について考えさせている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、言葉を使ってお互いの思いを伝え合っています。しかし、言葉の使い方を間違えると、自分の思いとは違う伝わり方をすることがあります。 <p>○ 内容項目順に、「教材名」や「主題名」等と共に、「教科等との関連」を記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(1) 自主, 自律, 自由と責任」「6 五月の風—コーナー」「自分を信じて」「いじめ, 情報」「32-35」「技, 家, 特活」
<p>学 研</p>	<p>○ 道徳科の学習を日常生活に生かせるよう、すべての内容項目の教材に「クローズアップ」を設けている。</p> <p>○ 巻末に、他教科等との関連を一覧にして示している。</p>	<p>○ タイトル「心を形に表そう」</p> <p>○ 教材文の終わりのページに「クローズアップ 心を形に表そう」を設けている。</p> <p>○ イラストや書く欄を設け、「とき」「ところ」「場合」を考えた言動を通して、礼儀について考えさせている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成長の節目の日にふさわしい服装とマナーを考えてみよう。 <p>○ 内容項目順に、「学習指導要領の内容」「教材」「他の各教科等との関連例」を記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自主, 自律, 自由と責任」「13 父との約束」「保健体育（体育分野）」
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 自己の生き方について考える学習ができるよう、各教材に「考えを広げる・深める」を設けている。</p> <p>○ 別冊「中学生の道徳ノート」に、自己の生活や様々な体験活動との関連を図った発問を示している。</p>	<p>○ 教材名「これは駄目？ これも駄目？」</p> <p>○ 教材文の終わり「考える・話し合う」の中に「考えを広げる・深める」を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、時間の使い方や節度を忘れると、だらしのない生活になってしまう。この他に、節度や節制を無視すると、どのような問題が生じるか、考えてみよう。 <p>○ 「度を過ぎず、調和のある生活をする」の中に、内容項目の解説と発問を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の自分の生活習慣を振り返って考えてみよう。 ・つい「〇〇し過ぎてしまう自分」がいらないだろうか。
<p>日 科</p>	<p>○ 他教科とのつながりを考慮した教材を複数掲載すると共に、関連するコラムを設けている。</p>	<p>○ タイトル「社会に参加する？」</p> <p>○ 教材文の終わりのページに「もっと知りたい」を設けている。</p> <p>○ 国際的意識調査のグラフを示し、日本の若者は社会をよりよくするために、積極的に参加しようとする意識が他国と比べて低いという現状を踏まえ、その原因やこれからの自分の行動について考えさせている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の自分の意識や行動をあらためて見つめ直した時、あなたは、この調査結果をどのように感じるでしょうか。

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦分量や教材の数
方法	判型, ページ数, 4つの視点ごとの教材数

	学年	判型 (別冊判)	ページ数 (別冊ページ数)	4つの視点ごとの教材数 (※複数内容項目教材)			
				A	B	C	D
東書	第1学年	A B	188	7	7	14	7
	第2学年		196	7	7	14	7
	第3学年		196	7	7	14	7
学図	第1学年	A B	226	7	6	16	6
	第2学年		230	7	6	16	6
	第3学年		226	7	6	16	6
教出	第1学年	B 5	200	8	8	12	7
	第2学年		184	7	7	16	5
	第3学年		184	5	5	16	9
光村	第1学年	B 5	229	8	9	12	7
	第2学年		229	9	8	12	7
	第3学年		237	10	7	※12	※8
日文	第1学年	B 5 (B 5)	198 (42)	7	6	15	7
	第2学年		198 (42)	7	6	15	7
	第3学年		198 (42)	7	6	15	7
学研	第1学年	A 4	182	8	7	13	7
	第2学年		186	8	7	12	8
	第3学年		186	8	8	12	7
廣あかつき	第1学年	A B (A B)	184 (68)	8	7	12	8
	第2学年		168 (68)	8	7	12	8
	第3学年		164 (68)	8	7	12	8
日科	第1学年	B 5	194	6	8	17	6
	第2学年		194	7	8	15	7
	第3学年		194	7	7	15	8

【備考】全ての発行者に掲載されている教材名 () は、複数ある場合の教材名

教材名	学年	教材名	学年
足袋の季節	第2学年 第3学年	二通の手紙 (元さんと二通の手紙)	第2学年 第3学年

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧ 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
方法	いじめの問題の扱い、教材等の例

	いじめの問題の扱い	第1学年
		教材等の例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめのない世界へ(1)(2)」を設け、複数教材をまとめた「いじめ問題対応ユニット」を設けている。 ○ 「いじめ問題対応ユニット」は、目次に緑色の枠囲みで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめに当たるのはどれだろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容項目「B 相互理解, 寛容」 ・ 教室の状況を描いたイラストから、いじめに当たる行為について考えさせる教材 ○ 「傍観者でいいのか」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容項目「A 自主, 自律, 自由と責任」 ・ いじめによって欠席が多くなったAさんを取り巻く傍観者や観衆の存在から、いじめを防ぐためにすべきことについて考えさせる教材 ○ 補助教材「ふたつの心」 <ul style="list-style-type: none"> ※複数内容項目 ・ クラスメイトのサオリが集団で無視される状況を改善するために、「私」を含むそれぞれの人物がすべきことについて考えさせる補助教材
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題点を直接注目し、正対して取り組むことを考える教材と、いじめに転じかねない生徒の日常の在り方について注目する教材で構成している。 ○ いじめ問題を扱う教材には、「いじめの防止」マークを目次及び該当ページに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「博史のブログ」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容項目「A 自主, 自律, 自由と責任」 ・ 友達がカンニングしたという嘘の記事をブログに書いた博史の様子から、実際に行動する時の判断の在り方について考えさせる教材 ○ 「いつも一緒に」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容項目「B 友情, 信頼」 ・ 友達だったみゆきを集団で無視してしまい、後悔する真理子の様子から、本当の友達をつくる上で大切なことについて考えさせる教材 ○ 「卒業文集最後の二行」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・ T子をいじめた「私」が後悔する様子から、いじめ起こさないためにすべきことについて考えさせる教材
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを直接的に扱った教材と、いじめを許さない心の育成を間接的に支えるための教材を選定している。 ○ いじめについて直接的に扱っている教材は、教科書の巻頭で、「いじめや差別のない社会に」とし、まとめて紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「『いじり』? 『いじめ』?」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容項目「B 相互理解, 寛容」 ・ 「いじり」と「いじめ」の違いを考えることを通して、人によって考え方や感じ方が違うことや、考えを伝え合う時の心がまえについて考えさせる教材 ○ 「ショートパンツ初体験 in アメリカ」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容項目「B 相互理解, 寛容」 ・ 障がい隠すことを当然と思い込んでいた筆者のアメリカでの体験を通して感じた思いから、個性や立場を尊重することについて考えさせる教材 ○ 「あなたならどうしますか」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・ いじめにつながりかねない場面に遭遇した2人の生徒が葛藤する様子から、いじめをなくすために大切なことについて考えさせる教材

【特別の教科 道徳】

<p>光 村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な内容項目からいじめの問題の解決に結び付く教材とコラムを1つのユニットとして設けている。 ○ いじめの問題のユニットを学年の前半に位置付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「席を譲ったけれど」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 思いやり, 感謝」 ・中学生が高齢者に席を譲って起きたトラブルについての投稿と, その投稿に対する複数の立場からの投稿から, 他者への思いやりについて考えさせる教材 ○ 「一粒の種」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C よりよい学校生活, 集団生活の充実」 ・友達が所属する部活動を応援しようと奔走する彩香の様子から, よりよい学校生活に向けて主体的に行動することの大切さについて考えさせる教材 ○ 「魚の涙」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・さかなクンのいじめに対するメッセージから, いじめをなくしていくために行うべきことについて考えさせる教材 ○ コラム「いじめについて考える いじめが生まれるとき」 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめる者, いじめられる者, 傍観者それぞれの立場から, いじめを防ぐためにどのようなことができるかについて考えさせるページ
<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめを直接的・間接的に扱った教材とコラム「プラットホーム」をユニット化し, 年間で複数配置している。 ○ いじめを扱う最初のユニットに, 扉ページ「『いじめ』と向き合う」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「『いじめ』と向き合う」 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめの背景や, 自分や相手の心の動きについて学びながら考え, 議論することを促すページ ○ 「さかなのなみだ」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・さかなクンのいじめに対するメッセージから, 「いじめ」を集団の問題として考えさせる教材 ○ コラム「『いじめ』って何？」 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめの構造, いじめの背景や心の状況に関する内容から, いじめについての理解を深めさせるページ ○ 「近くにいた友」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情, 信頼」 ・部活動を辞めるように書かれたメールを読んだオサムと書いた疑いをかけられた信也の様子から, 心から信頼できる友達について考えさせる教材 ○ コラム「怒りの感情と上手につき合おう」 <ul style="list-style-type: none"> ・音楽のCDを貸した生徒となかなか返さない生徒を演じ, 気持ちを考えることを通して, 怒りの感情の静め方や人とのよりよい付き合い方について考えさせるページ ○ 「トマトとメロン」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「A 向上心, 個性の伸長」 ・精一杯生きるトマトとメロンを取り上げた詩から, 一人一人の個性の尊重について考える教材

【特別の教科 道徳】

<p>学 研</p>	<p>○ いじめを直接的なテーマとして考え、議論できる教材と、様々な面から、他者と共によりよく生きることを考え、議論できる教材を選定するとともに、いじめに関する特設ページ「クローズアップ」を設けている。</p> <p>○ いじめを考える教材は、教科書の巻頭で、「いじめをなくすために」とし、まとめて紹介している。</p>	<p>○ 「うわさで決めるの？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・Bさんを見捨てるというSNSの話題から、差別や偏見をもたないために気を付けるべきことについて考えさせる教材 <p>○ 「裏庭での出来事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「A 自主, 自律, 自由と責任」 ・雄一と大介のことを考えて悩む健二の様子から、自主的に考え誠実に実行し結果に責任をもつことについて考えさせる教材 <p>○ 特設ページ「どうしてそんなことをするのか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブータンの少年やガイドさんの言葉を聞いた「私」の心情から、いじめについての考え方をひろげるページ <p>○ 「公平とはなんだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・背の高さが違う人物が塀の向こう側を見るために踏み台を使う話題, 義足のためにオリンピックに出られなかったレームの話題から、公平とは何かについて考えさせる教材 <p>○ 「吾一と京造」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情, 信頼」 ・待ち合わせ場所に来ない秋太郎を待って遅刻した京造に対し、目を合わせられない吾一の様子から、友情について考えさせる教材
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ いじめを題材として扱った直接的教材と、いじめを直接扱わない間接的教材を選定している。</p> <p>○ いじめを題材として扱った直接的教材の直後に、関連の深い内容のコラム「thinking」を設定している。</p>	<p>○ 「ヨシト」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・アツシが同級生にのけものにされているヨシトと交流する様子から、いじめのない学級づくりについて考えさせる教材 <p>○ コラム「してもよい『いじめ』などない」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめに関するアンケートの結果から、いじめに対する意識について考えさせるページ <p>○ 「ある日のバッターボックス」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正, 公平, 社会正義」 ・右足に障がいをもつO（オー）が友達とソフトボールをして遊ぶ姿を見た「私」の様子から、公平に接することについて考えさせる教材 <p>○ 別冊「中学生の道徳ノート」（「いじめ撲滅宣言」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都中学校生徒会長サミットの宣言から、自分なりの「いじめ撲滅宣言」を作ることを通して、公平な社会について考えさせるページ
<p>日 科</p>	<p>○ いじめの問題を重視し、いじめを正面から取り上げている教材と、生命尊重への学びをより深める教材を複数選定している。</p>	<p>○ 「いつもいっしょに」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情, 信頼」 ・友達だったみゆきを集団で見捨ててしまい、後悔する真理子の様子から、友達とよい関係を築く上で大切なことについて考えさせる教材 <p>○ 「プロレスごっこ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 社会参画, 公共の精神」 ・休み時間にプロレスごっこが繰り返される学級の様子から、いじめの改善に向けて考えさせる教材 <p>○ 「過去からのメッセージ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「D 生命の尊さ」 ・自分とそっくりの先祖の写真をみた尚子様子から、生命の連続性について考えさせる教材 <p>○ 「誰かのために」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「D 生命の尊さ」 ・最期まで子供のために生きた母親の姿から、自他の生命について考えさせる教材

観点	(工) 内容の表現・表記
視点	⑨ 巻頭・巻末等の取扱いの工夫
方法	巻頭・巻末等の示し方

	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けしたマークと共に、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、折り込みページの扉に詩を掲載している。 ○ 各学年、「話し合いの手引き」「道徳の授業はこんな時間に」を折り込みページで示している。 ○ 各学年、「一年間で学ぶこと」とし、4つの視点ごとに教材名を見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「テーマでふり返ろう」とし、6つのテーマで教材を分類して示している。 ○ 各学年、「自分の学びをふり返ろう」とし、切り取り式の自己評価用紙を各学期分設けている。 ○ 各学年、切り取り式ホワイトボード用紙、心情円を設けている。
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けしたマークと共に、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「道徳の学習を始めよう！」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「心の扉」を4つの視点ごとに分類して示している。 ○ 各学年、「学級づくり」を見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「一年間の振り返り」を1ページで設けている。 ○ 各学年、「保護者の方へ この教科書で目指すこと」を4つの視点ごとに示している。 ○ 各学年、「教材一覧」として4つの視点で色分けをし、キーワードごとに、掲載している全ての教材名を示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けし、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 第1学年は、「中学生の道徳が始まる」、第2学年以上は、「〇年生の道徳が始まる」を見開き2ページで示している。 ○ 第1学年は、「道徳って、どんなふうに学習したらいいの」を見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「道徳の学びを記録しよう」を見開き2ページで設けている。 ○ 第1・2学年には、「どんな〇年生になりたいか」を、第3学年は、「そして、未来へ……」を設けている。 ○ 各学年、「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」を折り込みページで示している。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次には、学習のまとまりを色別で区別し、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 第1学年、第2学年は、『対話』で広がる道徳の時間を、第3学年は、「道徳の時間に学ぶこと」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「本書で学ぶ皆さんへ」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「学びの記録」を折り込みで設けている。 ○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、現代的な課題等との関わり、他教科・領域との関わりを記載している。 ○ 各学年、各分野で活躍している人のメッセージを見開き2ページで示している。 ○ 各学年、テーマ別教材一覧を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「どうして『道徳』を学ぶんだろう？」を見開き2ページで示している。 ○ 第3学年は、「人生目標年表を書こう」を見開き2ページで設けている。 ○ 第1学年は、「日本の郷土玩具」、第2学年は、「日本各地の世界遺産」、第3学年は、「日本の先駆者」、「茶道に込められた礼儀の心」を見開き2ページで示している。

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、学年の大テーマを見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「道徳科で学ぶこと」「道徳科での学び方」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「この教科書で学ぶテーマ」を見開き2ページで示し、『いじめ』と向き合うのテーマには囲みがある。 ○ 別冊「道徳ノート」の目次には、各学年、4つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材名及び「道徳ノートの使い方」を示している。各学年、「道徳ノートのとびら」を1ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、詩を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、内容項目別教材一覧表を4つの視点別で示し、テーマや教科等との関連等を記載している。 ○ 各学年、別冊「道徳ノート」には、「道徳の学習で学んだことを書いてみよう」を1ページで、「話し合いの内容をメモしたり、まとめたりしよう。」を3ページで設けている。
<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、著名人の言葉を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次の前に、「道徳で学ぶこと・考えること」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けをし、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、「よりよく生きるための22の鍵」を4つの視点に分類し、見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「様々なテーマで学ぼう」「マイプロフィール」を見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、他の各教科等との関連例を記載している。 ○ 各学年、「心の四季」を1ページで設けている。 ○ 第3学年は、「未来への扉」を1ページで設けている。
<p>廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、豊かな自己の形成のための段階を1ページで掲載している。 ○ 各学年、「自分を見つめよう―道徳の時間とは―」を見開き2ページで示している。 ○ 別冊「道徳ノート」の目次には、各学年、4つの視点で色分けをし、内容項目を示している。また、各学年、「中学〇年生の私」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、4つの視点で色分けをし、内容項目ごとに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、教材一覧を示し、内容項目と作者を記載している。 ○ 各学年で「情報モラル」、第1学年で「現代的な課題」、第2学年以上で「持続可能な社会」について考えるページを設けている。 ○ 各学年、別冊「道徳ノート」には、「心のしおり」を折り込みページで、「学習の記録」を5ページ、「話し合い活動の記録」を2ページ、「心に残っている授業の記録」を2ページで設けている。
<p>日 科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けをし、内容項目順に掲載している全ての教材名を示している。 ○ 各学年、詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年、「道徳科って何を学ぶの？」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「教科書の使い方」「心の成長を目指して」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「学習指導要領対応表」とし、4つの視点で色分けをし、内容項目ごとに、掲載している全ての教材名を示している。 ○ 第1・2学年は、各学年の「心の成長」と「道徳の時間」の振り返り、第3学年は「心の成長」と「3年間の道徳の授業」の振り返りを、見開き2ページで設けている。 ○ 第3学年は、詩を見開き2ページで掲載している。

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑩教材の内容を理解させる工夫
方法	マーク・キャラクター等の示し方，活用の具体例

	マーク・キャラクター等の示し方	活用の具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「アクション」「プラス」のマークを設定している。 ○ Dマーク，教科関連マークを設定している。 ○ 「考えてみよう」，「つぶやき」のマークを設定している。 ○ キャラクター「考えタイガー」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上に，該当する4つの視点を示している。 ○ 「アクション」は，役割演技などを取り入れた学習を示し，「プラス」は，教材で学習した内容を広げるためのコラムを示している。 ○ 教材名の下に，デジタルコンテンツを用意しているものはDマーク，関連する教科があるものは教科のマークを示している。 ○ 教材文の終わりに，「考えてみよう！」のマークを使い，教材を読んで考える問いを，教材の途中には「つぶやき」のマークを使い，思ったことや考えたことを書き込む欄を示している。 ○ 目次や「アクション」等で学習の進め方を示している。
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 活動のマーク「考えよう」「見つめよう」「意見交換」を設定している。 ○ 現代的な課題等10のポイントのマークを設定している。 ○ 「心の扉」をマークで示している。 ○ 鉛筆のマークを設定している。 ○ 「振り返ろう」のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主題名の右に，該当する4つの視点と内容項目を示している。 ○ 教材文の終わり「学びに向かうために」のコーナーに，それぞれの活動を促す発問を示している。 ○ 目次や各教材の内容項目の下に，「社会を生きぬく」「命の尊厳」等10種類のマークを使い，深く考えるポイントを示している。 ○ 道徳的価値を深めたり，多面的・多角的なもの見方や考え方を促したりするページを示している。 ○ 「学びの記録」等，考えや振り返りを書き込む欄を示している。 ○ 学びを記録する欄を示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点を色分けして示している。 ○ 「学びの道しるべ」をマークで示している。 ○ 「問い」をマークで示している。 ○ 「やってみよう」をマークで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次及び教材名の横に，色分けした4つの視点を示している。 ○ 教材文の終わりに「学びの道しるべ」のマークを使い，さまざまな角度から考えたり，話し合ったりする発問を示している。 ○ 教材名の下及び「学びの道しるべ」において，4つの視点で色分けした「問い」のマークを使い，意識づけ等の問いを示している。 ○ 実際に場面を演じたり，よりよい行いの練習をしたりして，教材での学びを深める体験的な学習を取り入れた活動を示している。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年間を4つのシーズン（まとまり）に分け，教材やユニットのテーマと関連させて示している。 ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「コラム」をマークで示している。 ○ 「学びのテーマ」をマークで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活の実態に即して，4・5月，6～8月，9～12月，1～3月のまとまりを色分けし，4つのシーズンとして目次に示している。 ○ 教材名の横に，内容項目と共に，4つのシーズンで色分けしたマークを使い，該当する4つの視点を示している。 ○ 現代的な課題について考えることができる内容を示している。 ○ 教材文の終わり「学びのテーマ」のページに，「考える観点」，「見方を変えて」，「つなげよう」，「私の気づき」等，学びの手引きを示している。

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「考えてみよう」「自分に+1」のマークを設定している。 ○ 「プラットフォーム」「参考」のマークを設定している。 ○ 「私の生き方」のマークを設定している。 ○ 問題解決的な学習, 体験的な学習のマークを設定している。 ○ 「デジタルマーク」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上及び別冊「道徳ノート」に, 該当する4つの視点を示している。 ○ 教材文の終わり及び別冊「道徳ノート」に, 発問を示している。 ○ 「プラットフォーム」は, 学習を広げるページを, 「参考」は, 理解を助けるコラムのページを示している。 ○ 教材の中に, 生き方のヒントや中学生への応援メッセージを掲載している。 ○ 問題解決的な学習のマークは, 学習する中で道徳的な問題をつかみ, その解決に向けて考えたり話したりすることを, 体験的な学習のマークは, 動作や演技を通して考えることを表し, 目次や教材名の横に示している。 ○ 教材名右下に, ウェブサイトで授業に役立つ資料の提供があることを示している。
<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点を色分けして示している。 ○ 旗のマークを設定している。 ○ 「クローズアップ」, 「クローズアッププラス」のマークを設定している。 ○ 「深めよう」のマークを設定している。 ○ 「情報モラル」のマークを設定している。 ○ 鉛筆のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上に, 該当する4つの視点を色分けして示している。 ○ 教材文の終わりに, 問いや活動を示している。 ○ 「クローズアップ」は, 考え方の選択肢を広げるページを, 「クローズアッププラス」は, 視点や内容項目の異なる関連情報により視野を広げるページを示している。 ○ 主体的に考えを広げ, 深められるような発問を示している。 ○ 情報モラルに関する教材のページを示している。 ○ 自分の考えを書く欄を示している。
<p>廣 あ か つ き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点を色分けした丸の数で示している。 ○ 「考える・話し合う」「学習の手がかり」「考えを広げる・深める」のマークを設定している。 ○ 木の葉マークを設定している。 ○ 「thinking」のマークを設定している。 ○ 鉛筆のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の下に, 該当する4つの視点と別冊「中学生の道徳ノート」の該当ページを示している。 ○ 教材文の終わり「考える・話し合う」のコーナーに, 「学習の手がかり」「考えを広げる・深める」のマークを使い, それぞれ目当てや問いを示している。 ○ 教材文の終わりに, 先人や著名人の言葉を掲載している。 ○ 各学年, 教材と関連し学びを深める特集を複数設け, 目次及び該当ページに示している。 ○ 別冊「中学生の道徳ノート」の中に, 自分の考えを書く欄を示している。
<p>日 科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点を色分けして示している。 ○ 「考え, 話し合ってみよう そして, 深めよう」のマークを設定している。 ○ 「もっと知りたい」等のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の上に, 色別の内容項目を表す番号を示すと共に, 教材を囲む罫線, マーク等を色分けして示している。 ○ 各教材文の終わりに, 「考え, 話し合ってみよう そして, 深めよう」のマークを使い, 発問を示している。 ○ 教材文の終わりに, 教材と関連した特設ページを設けている。「もっと知りたい」の他に, 第1学年は, 「交通安全に気をつけよう」等4つのマーク, 第2学年は, 「書いてみよう」等4つのマーク, 第3学年は, 「考えてみよう」等2つのマークを設けている。

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑪考えを伝え合う活動の工夫
方法	話し合いを促す示し方, 具体例

		第1学年	
		話し合いを促す示し方	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「道徳の授業はこんな時間に」の中に、「話し合いの手引き」を示すと共に、ショートストーリーを例とした話し合いの場面を設定し、話し合いの具体的なプロセス等を示している。 ○ 教材文の終わり「考えてみよう！」のコーナーに、教材における話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合いのときの約束」 ○ 『たくやのなやみ』を読んで、考えてみよう <ul style="list-style-type: none"> ・グループになって話し合いましょう。ほかのグループで出た意見もきいてみましょう。 ○ 教材名「傍観者でいいのか」 <ul style="list-style-type: none"> ・③について、グループで話し合ってみましょう。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「道徳の学習を始めよう！」の中に、話し合いのポイントを示している。 ○ 教材文の終わり「学びに向かうために」のコーナーに、教材における話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考え、議論するために」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考え、意見を積極的に言う。 ・クラス全員が発言する授業にする。 ・友達の意見をしっかりと聞く。 ・みんなで一緒に考える。 ○ 教材名「生き続ける遺産 深良用水」 <ul style="list-style-type: none"> ・当時の人々や土地の発展のための事業が、現在においても活用されているという事実について感じたことを出し合ってみよう。 	
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「道徳って、どんなふうに学習したらいいの？」の中に、話し合いのポイントを示している。 ○ 教材文の終わり「学びの道しるべ」のコーナーに、教材における話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「友達と考えを出し合って」 <ul style="list-style-type: none"> ・なるほど、そういう見方もできるね。 ・みんなで話し合う中で、新しい考えが出てきたよ。 ○ 教材名「選ぶということ」 <ul style="list-style-type: none"> ・あなただったら、修一、秀人、知美のうち誰に投票するだろうか。理由も含めて話し合おう。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭『対話』で広がる、道徳の時間」の中に、話し合いのポイントを示している。 ○ コラムの中に「考えよう」を設定し、内容における話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『他者』との対話 <ul style="list-style-type: none"> ・友達と自分の感想とを比べたとき、考え方の違いがわかって自分を見つめ直せたよ。 ○ コラム「いじめについて考える」 <ul style="list-style-type: none"> ・Bさんの立場からは、悪ふざけをしている人たちに直接注意する以外に、どんなことができるだろう。クラスで話し合うなどして、いろいろな方法を考えてみよう。 	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭『対話』で広がる、道徳の時間」の中に、話し合いのポイントを示している。 ○ コラムの中に「考えよう」を設定し、内容における話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『他者』との対話 <ul style="list-style-type: none"> ・友達と自分の感想とを比べたとき、考え方の違いがわかって自分を見つめ直せたよ。 ○ コラム「いじめについて考える」 <ul style="list-style-type: none"> ・Bさんの立場からは、悪ふざけをしている人たちに直接注意する以外に、どんなことができるだろう。クラスで話し合うなどして、いろいろな方法を考えてみよう。 	
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭『対話』で広がる、道徳の時間」の中に、話し合いのポイントを示している。 ○ コラムの中に「考えよう」を設定し、内容における話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『他者』との対話 <ul style="list-style-type: none"> ・友達と自分の感想とを比べたとき、考え方の違いがわかって自分を見つめ直せたよ。 ○ コラム「いじめについて考える」 <ul style="list-style-type: none"> ・Bさんの立場からは、悪ふざけをしている人たちに直接注意する以外に、どんなことができるだろう。クラスで話し合うなどして、いろいろな方法を考えてみよう。 	

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 巻頭「道徳科での学び方」の中に、話し合いの具体的な状況を示している。</p> <p>○ 教材文の終わり「学習の進め方」のページに、教材における話し合う学習活動を示している。</p> <p>○ 別冊「道徳ノート」の中に、教材と同じ発問について書く欄を設けると共に、巻末に話し合いの内容をメモするページを6回分設けている。</p>	<p>○ 「学びをより深めるための手立て」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなと話し合い、意見を交流して、自分の考えと比べ、多面的・多角的に考えよう。 <p>○ 教材名「裏庭でのできごと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題について考え、議論しよう。 ・健二が鏡に映った自分を見たとき、どんなことを考えていたのかを話し合おう。 <p>○ 「友達の意見や話し合いをメモしよう。」</p> <p>○ 「話し合いの内容をメモしたり、まとめたりしよう。」</p>
<p>学 研</p>	<p>○ 巻頭「新しい扉を開く」の中に、話し合う学習活動を提示し、考えを深める四つのポイントを示している。</p> <p>○ 教材文の終わり「深めよう」のページに、「話し合おう」を設定し、グループでの話し合いの流れを示している。</p>	<p>○ 「話し合い、磨き合う」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いをして、考えを磨き合う ・自分の考えを、理由をはっきりさせて書いたり発表したりする。 ・友達の考えと自分の考えとを比べ、自分の考えを膨らませる。 <p>○ 教材名「公平とはなんだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当の公平について、レーム選手の参加を巡って考えたことをもとに話し合おう。
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 巻頭「自分を見つめよう—道徳の時間とは—」の中に、話し合いのポイントを示している。</p> <p>○ 教材文の終わり「考える・話し合う」のコーナーに、「考えを広げる・深める」を設定し、教材における話し合いを促す発問を示している。</p> <p>○ 別冊「中学生の道徳ノート」の中に、「話し合い活動の記録」を設定し、話し合いの記録を残す欄を設けている。</p>	<p>○ 「ともに考え、話し合う」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを他の人に分かりやすく伝え、他の人の考えをよく聞きましょう。 <p>○ 教材名「よみがえった良心」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探偵ベンの立場になって話し合ってみよう。 <p>○ 「話し合いを通して新たに気づいたこと・考えたこと」</p>
<p>日 科</p>	<p>○ 巻頭「道徳科って何を学ぶの？」の中に、話し合いのポイントを示している。</p> <p>○ 教材文の終わり「考え、話し合ってみよう—そして、深めよう」のコーナーに、教材における話し合いを促す発問を示している。</p>	<p>○ 「道徳科の授業は、物事を広い視野から話し合うことを通して、人間としてのよりよい生き方についての考えを深める学習の時間です」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで作って考え、話し合う <p>○ 教材名「パーソナリティー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身のよさは、どこにあるのか。それをどのように伸ばしていくことができるのか考え、話し合ってみましょう。

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑫考えをまとめたり，振り返ったりする活動の工夫
方法	考えをまとめたり，振り返ったりする活動の示し方，まとめや振り返りの頻度等，具体例

	第3学年		
	考えをまとめたり，振り返ったりする活動の示し方	まとめや振り返りの頻度等	具体例
東 書	○ 巻末に，心に残った教材や授業で学んでよかったこと，来期の取り組み方等を記録する，振り返りのページを設けている。	○ 「自分の学びを振り返ろう」 【3回分：4項目】	○ 「自分の学びをふり返ろう」 ・授業の取り組みについてふり返ってみよう ・今学期（今期）に読んだ教材の中で，心に残ったものは何ですか。どのようなことが心に残っていますか。 ・今学期（今期）をふり返って，道徳科の授業で学んでよかったことはどのようなことですか。
学 図	○ 教材ごとに，思ったことや感じたことなどについて，学習の振り返りができる記述欄を設けている。 ○ 巻末に，一年間の学習を振り返る欄を設けている。	○ 「学びの記録」 【年間3回分：教材ごと2項目】 ○ 「一年間の振り返り」 【1回分：2項目】	○ 「学びの記録」 ・どのような学習をしたか ・自分はどんなことを考えたか。友達の意見でどのようなことが印象に残ったか。 ○ 「一年間の振り返り」 ・一年間の道徳の学習で，どのようなことを深く考え，どのように行動できるようになったと思うか。 ・自分のもっと伸ばしていきたいところ，変えていきたいところについて，これからどのようにしていきたいか。
教 出	○ 巻末に，印象に残った教材を記録したり，新しい発見等があった教材に色を塗ったりする欄を設けている。 ○ 巻末に，中学校での学習を終え，二十年後の自分の姿を記入する欄を設けている。	○ 「道徳の学びを記録しよう」 【3教材分：1項目】 【教材ごと】 ○ 「そして，未来へ…」 【1回分：3項目】	○ 「道徳の学びを記録しよう」 ・印象に残った教材（○期） ・考えたこと ・学習して，新しい発見があったりためになったと感じたりした教材に，自分なりに色を塗ってみましょう。 ○ 「そして，未来へ…」 ・あなたは，どんな大人になりたいですか？ ・家の人から ・先生から
光 村	○ 巻末に，自分の将来を想像し，人生目標を年表に書く欄を設けている。 ○ 巻末に，シーズンごとの自分の学びの振り返り，自分の考えを書き留めておくことができるページを設けている。	○ 「人生目標年表を書こう」 【1回分】 ○ 「学びの記録」 【1回分：4項目】	○ 「人生目標年表を書こう」 ・まだ，先のことはいかにもわからないかもしれないけれど，自分の将来を想像して，現時点の人生目標を左の年表に書いてみよう。 ○ 「学びの記録」 ・志をもって ・他者と共に生きる社会を目標として ・広い視野で ・未来を切り開く

【特別の教科 道徳】

<p>日 文</p>	<p>○ 別冊「道徳ノート」に、授業で学んだこと等について振り返る欄を設けている。</p> <p>○ 別冊「道徳ノート」の巻末に、話し合いの内容をメモするページや道徳の学習で印象に残ったこと等を記入する、保護者記入欄付きの振り返りのページを設けている。</p>	<p>○ 「自分への振り返り」 【教材ごと：4項目】</p> <p>○ 「メモ」 【6回分】</p> <p>○ 「道徳の学習で学んだことを書いてみよう」 【3回分】</p>	<p>○ 「自分への振り返り ○印をつけよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日の授業の内容は印象に残った、残らなかった 友達の意見や話し合いから、新しい発見や気づきがあった、なかった <p>○ 「話し合いの内容をメモしたり、まとめたりしよう。」</p> <p>○ 「道徳の学習で学んだことを書いてみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 印象に残った学習と、なぜ印象に残ったのかを学期末などに書きましよう。
<p>学 研</p>	<p>○ 巻末に、1年間の自分の成長を振り返るページを設けている。</p> <p>○ 巻末に、未来への自分に手紙を書く欄を設けている。</p>	<p>○ 「心の四季」 【1回分：4項目】</p> <p>○ 「未来への扉」 【1回分】</p>	<p>○ 「心の四季」</p> <ul style="list-style-type: none"> 大切な友達に贈りたい言葉 思いついたり見付けたりしたとおきの言葉 頑張っている自分に贈りたい言葉 心の成長につながったきっかけ <p>○ 「未来への扉」</p> <ul style="list-style-type: none"> 20歳の自分、就職した自分、親になった自分…未来の自分に手紙を書こう。 []の自分へ
<p>廣 あ か つ き</p>	<p>○ 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、心に残っている授業や話し合いの記録を残す欄を設けている。</p> <p>○ 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、学習の記録や自己評価、内容項目ごとの振り返りをする折り込みページを設けている。</p>	<p>○ 「心に残っている授業の記録」 【4回分】</p> <p>○ 「話し合い活動の記録」 【4回分：2項目】</p> <p>○ 「学習の記録」 【15回分】</p> <p>○ 「自分自身を振り返って」 【内容項目ごと】</p> <p>○ 「自分をのぼそう」 【3回分（振り返りは4回分） 【教材ごと】</p>	<p>○ 「心に残っている授業の記録」</p> <ul style="list-style-type: none"> 心に残っている理由 <p>○ 「話し合い活動の記録」</p> <ul style="list-style-type: none"> 今の自分の考え 話し合いを通して新たに気づいたこと・考えたこと <p>○ 「心のしおり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 伸ばしていきたいこと・今後の目標 自己評価
<p>日 科</p>	<p>○ 巻末に、1年間の成長を振り返るページを設けている。</p> <p>○ 巻末に、3年間の道徳の授業について振り返るページを設けている。</p>	<p>○ 「3年生の心の成長を振り返りましよう」 【内容項目ごと】</p> <p>○ 「私の道徳記録」 【1回分：5項目】</p>	<p>○ 「3年生の心の成長を振り返りましよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のレベルを判断してレベルのところの点に○をつけましよう。 <p>○ 「私の道徳記録」</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年間の道徳の授業について振り返ってみましよう。 私の心を動かした3年間のできごと